

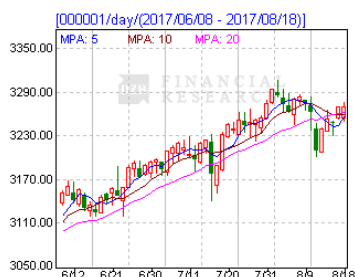


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,674.51	-76.22	-0.35	-0.84	9.67	19,762.60
NASDAQ	6,216.53	-5.39	-0.09	-0.64	15.48	5,383.12
日経225	19,470.41	-232.22	-1.18	-1.31	1.86	19,114.37
上海総合	3,268.72	0.29	0.01	1.88	5.32	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,724.68	3.40	0.09	2.12	12.53	3,310.08
ハンセン	27,047.57	-296.65	-1.08	0.61	22.94	22,000.56
H株	10,693.65	-107.77	-1.00	1.14	13.82	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.6%高と反発、上海総合指数は1.9%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.6%高と反発した。北朝鮮を巡る地政学リスクの後退を受けてハンセン指数は17日まで下値を切り上げる展開となったが、週末にかけて米国の政権運営を巡る混乱やスペインのテロ事件を受けて投資家心理が悪化。18日には1週間ぶりの安値をつけたが、終値ベースで節目の27000ポイント台は維持した。本土市場では上海総合指数が週間で1.9%高と反発。北朝鮮を巡る地政学リスクの後退や国有企業の混合所有制改革への期待が相場を押し上げた。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、合同軍事演習開始で地政学リスクに注視

香港市場は神経質な展開が見込まれる。21日から米韓合同軍事演習が始まり、米国と北朝鮮の軍事的緊張が再び高まる公算が大きい。軍事演習に反発する北朝鮮が再び挑発行為に出る可能性は無視できず、双方の動向に注視しながらの展開となりそうだ。また、トランプ米大統領の政権運営を巡る混乱も引き続きマイナス材料視される可能性がある。一方で企業の中間決算の発表が本格化しており、好業績銘柄への物色は続きそうだ。本土市場も北朝鮮の地政学リスクを背景に神経質な展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国平安保険(02318)	60.20	7.50
2 中国蒙牛乳業(02319)	16.58	6.28
3 瑞声科技(02018)	112.30	5.25
4 チャイナ・ユニコム(00762)	11.94	4.92
5 テンセント(00700)	325.80	4.89
6 銀河娛樂(00027)	47.70	3.70
7 中国工商銀行(01398)	5.48	3.40
8 中国建設銀行(00939)	6.51	2.68
9 中国銀行(03988)	3.85	1.85
10 キャセイ・ハンフック(00293)	12.00	1.69

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 電能実業(00006)	68.00	-12.93
2 ワーフ(00004)	69.75	-4.26
3 シバック(00386)	5.60	-3.61
4 レボグループ(00992)	4.56	-3.59
5 中国中信(00267)	11.38	-2.90
6 ペトロチャイナ(00857)	4.79	-2.84
7 中国神華能源(01088)	18.58	-2.72
8 恒隆地産(00101)	19.30	-2.43
9 華潤置地(01109)	22.30	-1.98
10 中国海外発展(00688)	24.80	-1.98

▼今週の主なイベント

- 8月21日(月)
- 【米国】米韓合同軍事演習(31日まで)
- 8月24日(木)
- 【香港】貿易統計(7月)
- 【米国】ジャクソンホール会議(26日まで)

▼今週の期待材料

- ◆中国政府が混合所有制改革を実施する国有企業の第3陣リストを選定、改革進展への期待が続く公算
- ◆中国人民銀行の公開市場操作で先週は差し引き1100億円の資金を市場に供給、8月は400億円の供給超過に
- ◆中国本土企業の決算好調、21日までに発表した1069社の中間決算は24%増収、20%増益

▼今週の懸念材料

- ◆21日から米韓合同軍事演習、北朝鮮と米国の軍事衝突への警戒感が高まればリスク回避姿勢強まる公算
- ◆米通商代表部が通商法第301条に基づき中国に対する知的財産権侵害の調査を開始、制裁発動も視野
- ◆トランプ米大統領の政権運営への不透明感高まる、最側近のパノン首席戦略官を事実上解任

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 東亜銀行(00023) 25日に6月中間決算を発表、市場予想は純利益2.7倍
- ☆ 越秀地産(00123) 17年の不動産販売目標を330億元から360億元に引き上げ
- ☆ 深セン高速道路(00548) 6月中間決算は21%増益、通行料収入の増加が寄与
- ☆ チャイナ・ユニコム(00762) 混合所有制改革で筆頭株主への出資者を発表
- ☆ ペトロチャイナ(00857) 24日に6月中間決算を発表、会社予想は大幅増益の見通し
- ☆ 広州白雲山医薬(00874) 6月中間決算は39%増益、市場予想上回る
- ☆ 中国人寿保険(02628) 24日に6月中間決算を発表、市場予想は31%増益
- ◇ フェニックス・サテライト(02008) 香港無料テレビ放送事業免許の申請を撤回
- ★ 東江環保(00895) 6月中間決算は7%増益、市場予想下回る
- ★ 交通銀行(03328) 24日に6月中間決算を発表、市場予想は1%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。